

# 令和5年度の運営委員会意見集約

～組合員・利用者の声を聞く活動～



J Aでは、地区運営委員会を2月7日から営農経済センターごとに6会場で開催しました。2月19日には総合運営委員会を開催し、多くの意見や要望をいただきました。今回は、各地区運営委員会と総合運営委員会で出された質問や意見、要望を紹介します。

## 地区運営委員会・総合運営委員会での 主な意見・要望

### ◎営農・畜産部門関連

**Q** 集落営農組織として個人所有農地の草刈り作業が高齢化等の理由で対応できない。J Aとしてどのような対応を考えているか。

**A** 現在、作業人員の不足がどこでも課題です。対策としてスパイダーモアやラジコン草刈機械にて作業する方法があります。機械は高額になりますので集落営農組織で検討する必要があります。

**Q** 米について「銀河のしずく」は藤沢町大籠地区等に栽培が適していると思うが推進活動をどのようにしているのか。

**A** 「銀河のしずく」については栽培説明会を行い、作付け拡大に取り組んでいます。地域によっては条件により作付けできない場合もあります。

**Q** 気象に左右されない高温耐性品種の調査研究施設がJ Aにはあるのか。

**A** J Aには施設がないため県と協力して研究していく意気込みです。

**Q** 園芸について、グリーンヘルパーを利用してはいるが、しっかり働ける人が来ない。水田はスマート農業ができるが、果樹などの園芸品目はできないので、繁忙期は職員が応援してもいいのではなか。

**A** 入組3年目までの職員は農業体験があるが、さらに検討したい。

**Q** カントリー、ライスセンターの利用率が下がっている。米の成熟が早まっているのだから、稼働時期を早めるべきと思う。施設の稼働時期が遅くなったことで、民間に頼む農家が増えている。

**A** 昨年は定期点検の実施時期を早められず、稼働時期を早めることができなかったことで農家の皆さまにご迷惑をかける結果となってしまう。今年はそのようなことがないように進めてまいります。

**Q** 家畜改良センター、一関育成牧場の赤字について改善策を聞きたい。

**A** 家畜改良センターについては、しばらく料金の改定をしていなかったこともあり、授精料金の改定を検討しています。一関育成牧場については利用牛を室根高原牧野に集約しつつ粗飼料供給基地として収支の改善を図ってまいります。

**Q** 高齢化が進行している畜産農家では、牧草の120㍏ロールの作業が困難である。100㍏以下のロールで対応できないのか。

**A** 昨年状況調査を実施しました。100㍏などのロールを使用できるよう検討してまいります。



◎信用・共済部門関連

**Q** ネットバンクの口座履歴明細は3カ月しか表示されないので改善してほしい。

**A** ネットバンクの口座履歴は3カ月ですが、JAバンクアプリは25カ月まで表示されるのでアプリを取得してご利用をお願いします。



**Q** 畜産事業で「生産者が安心して経営できる環境を整備」とあるが、具体的に聞きたい。また、融資で「農産物減収による運転資金相談、対応に取り組んだ」とあるが、何を行ったのか聞きたい。

**A** 畜産だよりによる情報発信、事業導入のための補助や機械導入補助支援等を行いました。融資では災害特別資金の対応をし、実質0%金利の資金を用意しております。

◎経済部門関連

**Q** ガス・電気・灯油をミックスしたホームエネルギー提案とは何か。

**A** オール電化で電気料金が高くなった家庭に、ガス、灯油を併用することで全体の燃料価格を抑える提案を行っています。

**Q** 農機センター再編による利用の低下をどのように考えているか。

**A** 職員がすぐできる仕事ではなく、高齢化している現状ですが、若手技術者の育成に努力し、サービスの充実を図ってまいります。



◎経営・総務・管理部門関連

**Q** 遊休資産の活用、処分の方向性について先送りせず、素早く取り組んでほしい。

**A** 理事会で検討し取り組んでまいります。基本的には使用の希望があれば賃貸または売却で、希望がなければ解体の方向となります。

**Q** 合併で農家は今も不便である。新聞で、秋田はこれ以上合併しないという記事を見た。農家離れが理由と思うが、岩手県中央会はどのような考えなのか。

**A** 県下6JA構想で実施してきましたが、JA

岩手ふるさと・JA江刺が進んでいません。また、3JAの意見もありましたが進んでいません。自己資本比率が10%割れに近づくと進むのではないかと思います。

その他の主な意見・要望

- ・ 女性部の部員確保、役員のなり手がいない。通帳を女性部に返却する話もあるが、引き続きお世話をしてほしい。
- ・ 区画整備等で野菜を栽培しているが、県の研修では10軒は黒字で1篇以上は赤字になっていると聞いた。県の方針は最初から赤字になるものを勧めることがおかしい。県と協力して黒字になる作物を検討してほしい。
- ・ 営農経済センターや支店の再編を行った経済効果が資料から読み取れない。文章だけでなく、きちんと数字で示すべきである。



皆さまの声を真摯に受け止め、今後のJA事業に反映していけるよう努力してまいります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。